

諫早市内において、平成 29 年 1 月 24 日より工事が進められていました「諫早トンネル他」(戸田建設(株))工事が、令和 2 年 12 月 25 日に竣工しました。

この工事では、延長 270 メートルの諫早トンネルを含む、合計 395 メートルの施工を行いました。

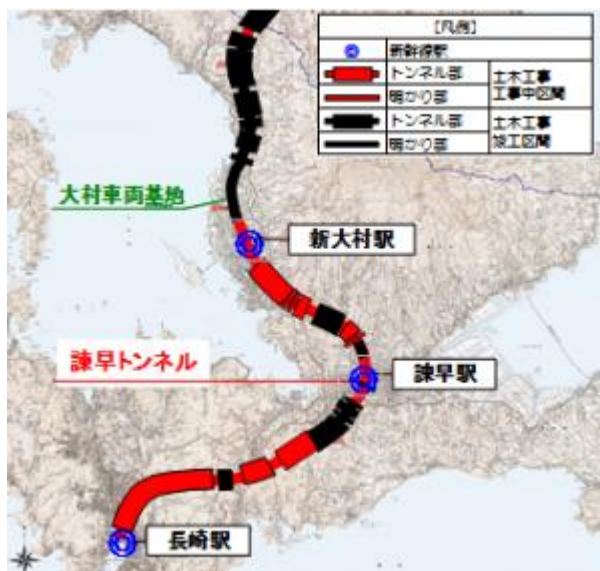
諫早トンネルは、交通量の多い宇都交差点付近で国道 207 号や市道などの直下を通るトンネルですが、前後の高さの関係から、トンネルの上端から地表面までわずか約 3.5 メートルしかないところを掘削せざるを得ませんでした。なおかつ、道路下には上下水道や電力、通信などの埋設管が多々存在している状況もあり、地上の道路交通や埋設管に支障をきたさない掘削方法の検討が必要となりました。

掘削方法について検討が重ねられた結果、国道直下では、パイプルーフ工法という掘削前のトンネルの外周上部に鋼管(パイプ)を打ち込むことで、事前に地山を補強する工法が採用されました。諫早トンネルでは、1 本の長さが 60 メートル、直径 80 センチメートルの鋼管を 15 本打ち込んだ後に掘削が開始されました。

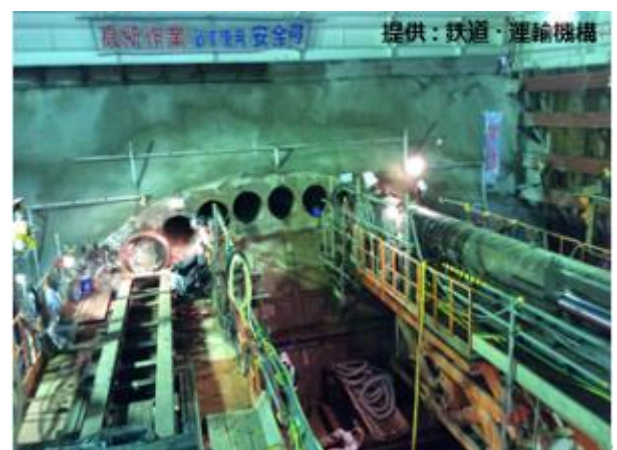
そして、地上や埋設管に変状がないか常に監視しつつ慎重な施工が行われた結果、道路面の最大沈下量は約 8 ミリメートルと非常に小さな変位でトンネル掘削を終えることができおり、無事、竣工を迎えることができます。

この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事 40 工事のうち 24 工事が竣工したこととなりました。

引き続き、令和 4 年秋の開業に向けて、軌道工事や電気工事が行われています。



【位置図】



【パイプルーフ施工状況(H30.4 撮影)】



【パイプルーフ施工完了状況(H30.8撮影)】



【トンネル掘削状況(H30.11撮影)】



【完成した諫早トンネル  
(諫早駅方から長崎駅方を望む)】



【完成した諫早トンネル  
(長崎駅方から諫早駅方を望む)】